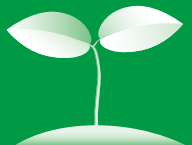


育てよう

# 鏡野のよい子シリーズ



## 「養護教諭三年目を迎えて」

「先生って子どもの頃の夢は何だったの？」と子どもたちに聞かれることがあります。高校生の頃から、私の夢は「保健室の先生」になることでした。生徒のために、受験期は特に感染症対策に力を入れてくれたり、校内の環境衛生を保つてくれたりと、子どもたちの環境衛生を見えないところで支えてくれる姿にかっこよさを感じたことがきっかけでした。そして、その夢が現実となり、早くも三年目を迎えました。

養護教諭となった一年目は、世界中で新型コロナウイルス感染症が流行し、それに伴い、学校行事の縮小や中止が相次ぎました。また、新採用の初任者研修も半年以上、対面では行われず、数少ない養護教諭の同期の顔と名前がわからないという、不安な毎日を通り越していました。そんな中、とにかく無我夢中の毎日、「養護教諭として子どもたちに何ができるのか」と戸惑っていました。しかし、そんな私を子どもたちが「鏡野町立南小学校の保健室の先生」へと変えてくれました。

一年目、そして二年目と、新型コロナウイルス感染症の影響で、全校を集めた保健集会や保健指導はできませんでしたが、しかし、全校放送を利用した保健指導、動画を作成して行った清掃指導等、ICT等を活用し、新しい形で活動することができました。全校放送後に、子どもたちから拍手をもらったり、動画視聴後に、「わかりやすかった」と笑顔で声をかけてもらったりと、子どもたちの言葉や笑顔によって、最初の戸惑いから、少しずつ養護教諭としての自信へと変わっていきました。

今こうして、「保健室の先生」として三年目を迎え、改めて感じるの子どもたちのもっている力のすばらしさです。新しいことを学ぶ喜び、苦手なことでもやり遂げようとする姿勢、「ごめんね」や「ありがとう」という言葉の大切さや優しさ、クラス全員で学校行事に参加できる嬉しさなど、忘れてはいけない大切なことを、子どもたちは改めて気づかせてくれました。子どもたちの素直さと日々成長していく姿にはいつも感動させられます。

「保健室の先生」になるといって夢が叶い、三年目を迎えた私は、救急処置や環境衛生、保健指導だけではなく、心のケアが必要な子どもたちにもたくさん出会ってきました。保健室を利用する児童の約三分の一がイライラやモヤモヤなどを吐き出せずに、頭痛や腹痛を訴えたり、クールダウンのために入室したりします。また、保健室登校をする児童もいました。しかし、心のエネルギーを少しずつためて、スマイルステップではありますが、前進していく力が子どもたちにはあります。保健室登校から別室登校にステップアップしたり、上手に保健室を利用しながら教室復帰ができました。今後も、困難に立ち向かいながら、確実にステップアップしていく子どもたちの姿を見ていきたいと思っています。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

南小学校 年岡 優

# のびのびひろば

## それいけ！わっしょい！あきまつりごっこ！

秋晴れの空の下、芳野こども園のあきまつりごっこが開かれました。この日のために各クラスお神輿作りやお店に出す『トンポのめがね』『ポップコーン』を「かわいい模様にしたよ！」「本当に食べちゃいそう♡」などお客さんが喜んでくれるように作りました。小さい組さんは、牛乳パックで作ったかわいいだんじりを「そーやれ！」と引っ張り、園内の練り歩きを楽しみました。また、大きい組さんは園内や福祉センター、かがみの園を訪問し、地域のおじいちゃんおばあちゃんに「かわいいねえ」と温かい拍手をいただくと、この日を心待ちにしていた子どもたちは、さらに張り切って練り歩きました。

当日は、ばら組のお店でお買いもの楽しんだり、獅子舞いをして大盛り上がり！「お店でトンポのめがね買ったんで！」「獅子舞い怖かったけど、頭撞んでもらえたよ」など子どもたちの笑顔あふれるお祭りごっことなりました。

わっしょい！わっしょい！



芳野こども神社にお詣り



いらっしやいませ！



お店 大成功～！！



お買いもの 楽しい♪

だんじり 素敵でしょ♡



獅子舞い

獅子さん あたまかんで～！



(芳野こども園)